

## 平成二十八年年度伝えの日 10月1日(土)開催

### お月見歌会 入選歌

高山市文化伝承館の「道伝えの日」として、十月一日(土)にお月見歌会を開催しました。十二回目を迎える今年も、一般四十七名、高校生百七十六名の応募をいただきました。

選者に、昨年同様「日本歌人クラブ」中央幹事であり「新アララギ」代表でもある雁部貞夫先生をお招きし、指導をいただきました。

以下に、応募者による互選及び、雁部先生の選ばれた短歌をご紹介します。

#### ◎課題歌「月」

- 一席 新月の夜にまぎれて人知れずさみしき鬼を胸に棲まはす  
柴田 恭子
- 一席 鎌のやうな月冴ゆる夜にひそやかに母はこの世のいのち  
鶴見 輝子
- 一席 終へにき  
西 春彦
- 三席 ふるさとの暮しの跡は水の底ダム湖に映る寒月凍てり  
三尾美智子
- 三席 草刈りを終えし野に咲く月見草一株残せし人に会いたし  
柴田 恭子
- 雁部貞夫推薦  
新月の夜にまぎれて人知れずさみしき鬼を胸に棲まはす  
柴田 恭子

照らしつつ後を追ひ来る望月を逃れて長きとんねるに入る  
倉坪 芳江

## 平成29年 新春飾り物展

### 作品募集

新春恒例の「飾り物展」の作品を募集します。新春らしい題材の作品をお待ちしております。

- ◇テーマ 干支「酉」又は歌会始のお題「野」。  
※「野」の字が入ること。熟語でも可。
- ◇資格 市内町内会や同好会、各種団体、市内在住の個人。
- ◇規格 概ね100センチ×90センチに収まること。
- ◇応募 文化会館窓口で配布する応募用紙に、必要事項を記入の上、12月23日(金)までに、同窓口へ提出か文化協会へ郵送、またはFAX。

#### 【飾り物展日程】

- ◇日時 1月13日(金)～15日(日) 午前9時～午後5時  
(最終日は午後4時まで)
- ◇会場 文化会館3階講堂・美術工芸室

#### ヤングチャレンジ部門

高校生以下を対象とし、身近な道具で作る、若い感性あふれる飾り物を募集します。

※「ヤングチャレンジ部門」と明記してください。

#### ◎自由歌

- 一席 朝つゆをやどす木槿の一輪を活けてひとりの膳ととのえる  
柴田 恭子
- 二席 帰りたい記憶の家はどこですか義母の背中に声出さず問う  
江尻 恵子
- 三席 一日を魚に遊ばれ帰り来る夏の川原に日焼けせし夫は  
和田 操
- 雁部貞夫推薦  
不意をつくことにも我を馴れしめて少女は日毎美しくなる  
堀 甲枝
- 山毛榉の樹々根元は雪の溶け初めて春の息吹の在り処示  
宇都木慎一

#### ◎高校生の部 課題歌「月」

入選 上弦の月が下弦に変わっても二人の写真未だ捨てられず  
飛騨神岡高校三年 荒木 健裕

まだ君は知らないだろう夕方の空に浮かんだ真白な月  
飛騨神岡高校三年 波岡 梨乃

満月の欠片をポケットにしまい込み四つに分けて家族へ渡す  
飛騨神岡高校三年 和仁 大志

満月をみると母を思い出すどちらも僕を見守っている  
飛騨神岡高校一年 青山 椋

月あかりに照し出された海の波紋めた思いを静かに運ぶ  
飛騨神岡高校一年 小木曾 都

満月がキラキラ光り笑つてる空で平和を観察中だ  
飛騨神岡高校一年 米澤 太志朗

下校時の僕を見守るお月さま今日の不安を消してくれ  
吉城高校二年 松葉 春汰

夜空見て明日への願い言ってみる少しの期待に少しの不安  
吉城高校一年 牛丸 祐菜

横顔のすてきな君の横に座し弓手を握る星月夜の下  
吉城高校一年 林 愛友那

三日月はどんな月よりきれいだねすつきりさわやかする  
吉城高校一年 堀 怜音

どいカーブ  
吉城高校一年 堀 怜音

秋の夜君を照らすよ月明かり一夜かぎりのスポットライト  
高山西高校三年 小笠原 稔保

コンビニで買ったコーヒーふとのぞく砂糖と共にとける  
高山西高校二年 岩野 芽依

月光  
高山西高校二年 岩野 芽依

青い空左に太陽右に月ふと気が付いた小さな幸せ  
高山西高校一年 堀之上 さや子

月満ちて命も満ちるこの星に海の底では珊瑚の産声  
高山西高校一年 和田 鈴太

月齢を天気予報と見比べて満月の日待つあど何日か  
高山西高校一年 垣内 咲乃

### 「岡目(目)」

莫大な金を使って、これでもかと言うようなハリウッド映画を観た後には、一服の清涼剤になる。

九月に高山であった「山岳映画の夕べ」は、山の好きなアマチュアの映画会。プロの映画会社やTV局の大口ケ隊の取材とはひと味違うさわやかさがあつた。

高山の古滝雅之さんの「白川郷・野谷莊司山へ」もあつた。古滝さんは、知る人ぞ知るこの道の手練れの「入賞常連」。古滝さんの故郷は今ではダムの底。かつてそこらいつも見上げていた山に、カメラを持つて友人と登り、昔を偲ぶという十二分間の作品。

手練れの秀作は奇を衒わず、坦々と撮り淡々と語る。目くらましの大げさなカットやコメントはない。抑制の利いた古滝さんの「思い入れ」が静かにこちらに伝わってくる。

プロとアマの違いは「それで稼いで食っている人」と「それを愛して楽しんでる人」の違いかもしれない。

故郷が無くなった人の心には、プロもアマもない。

お里の便りも絶え果てた……か。秋深し。

〈ガンモン毛筆〉

(一社)高山市文化協会加盟団体

文化協会後援 催事案内

高山市民合唱団「ひゆら」

第五十八回定期演奏会

◇日時 十一月二十七日(日)

午後二時

◇場所 飛騨センター・飛騨

芸術堂

◇料金 大人一、〇〇〇円

(十八歳以下無料)

◇日本舞踊 名流会

◇日時 十一月二十三日(水)

祝 午後一時

◇場所 文化会館大ホール

◇入場無料

## 市制施行80周年記念 飾り物展

高山市文化協会では、市制施行80周年と高山駅舎の完成を記念して、祝賀の飾り物展を開催します。

市内の団体・個人が応募した34点の飾り物を展示します。

秋の一日、ぜひ高山市民文化会館まで足をお運びください。

◇日時 十一月一日(火)

三日(木祝)

午前九時～午後五時

(最終日は午後四時

まで)

◇会場 文化会館四階和室

◇入場無料

嵐が去ればそれぞれの日常が戻ると分っている彼らの想いは交錯し――。

笑ってしまうほどのダメ人生を更新中の中年男・良多(阿部寛)。15年前に文学賞を1度とったきりの自称作家で、今は探偵事務所に勤めているが、周囲にも自分にも「小説のための取材」だと言い訳している。元妻の響子(真木よう子)には愛想を尽かされ、息子・真悟の養育費も満足に払えないくせに、彼女に新恋人ができたことにショックを受けている。そんな良多の頼みの綱は、団地で気楽な独り暮らしを送る母の淑子(樹木希林)だ。ある日、たまたま淑子の家に集まった良多と響子と真悟は、台風のため翌朝まで帰れなくなる。こうして、偶然取り戻した、一夜かぎりの家族の時間が始まるが――。

阿部寛 真木よう子 小林聡美 リリー・フランキー 池松壮亮 吉澤太陽 / 橋爪 功 樹木希林

©2016 フジテレビジョン バンダイビジュアル AOI Pro.ギャガ



# 海よりもまだ深く

是枝裕和監督作品  
『海街diary』『そして父になる』

本年度話題となった、是枝監督の映画上映会

高山市文化協会 **ワンコイン・シアター**

平成28年

# 12/23

金祝

①午前10時～  
②午後2時～  
(開場各30分前)

## 高山市民文化会館 小ホール

高山市昭和町1丁目188-1

主催：(一社)高山市文化協会

チケット料金(税込) **全席自由 500円** ※未就学児入場不可

チケット発売 **11月5日(土) 午前10時～**

プレイガイド **高山市民文化会館 tel.0577-33-8333**

夢見た未来と違う  
今を生きる、  
元家族の物語。

飛騨が生んだ  
日本を代表するテノール

## 水口聡 with オケストラアンサンブル金沢

テノールとストリングスの競演

チケット  
好評販売中

高山市文化芸術鑑賞事業

平成28年

# 12/4

午後3時開演  
午後2時30分開場

## こくふ交流センター さくらホール

高山市国府町広瀬町880

主催：高山市・(一社)高山市文化協会

チケット料金(税込) **全席指定**

〔一般〕2,500円

〔メセナメイト会員〕2,000円

〔ジュニア(18才以下)〕500円

※未就学児入場不可

プレイガイド

高山市民文化会館  
さくらホール管理事務所(2F)  
飛騨市文化交流センター

飛騨高山文化芸術祭こだま〜れ2016

## 小原孝 ニューイヤー コンサート(仮)

平成29年

# 1/22

午後予定

## 高山市民文化会館 大ホール

高山市昭和町1丁目188-1

主催：コサカ楽器 共催：(一社)高山市文化協会

チケット料金

チケット発売

プレイガイド

未定

高山市民文化会館  
コサカ楽器 その他